

江南市市民協働研究会

これまでの意見の整理

「市民が主役のやさしさと活力あふれるまち 江南」をキャッチフレーズに、市民・市民団体・NPO・企業と行政など、江南市を構成する様々な主体が、市民まちづくりの理想と志を共有し、地域の課題や公共的な課題に協力して取り組むことが「市民が主役のまちづくり」であり、このまちづくりは協働によって可能となります。

1. 協働の趣旨

成長社会から成熟社会への転換に伴い、新しい地域社会のしくみを構築することが求められています。これからのまちづくりは、市民の地域づくりへの参加意識の高まりから、地域全体でめざす地域の将来の姿や目標を市民と市役所が共有し、市役所と共に市民・市民団体・NPO・企業などの主体によって成り立つ社会（以下、江南市を構成する様々な主体又は様々な主体と表現）への転換が必要となってきました。

江南の地に暮らし活動する様々な主体のあふれるパワーと豊かな知恵が十分に発揮されるような地域社会づくりを行うことが、多様化するニーズ、複雑化する地域課題への対応力を高め、地域みんなの満足につながるものと考えられます。

そのための方法として、市民参加の新しい形態 - 「市民協働」が必要な社会情勢となっています。「協働」とは、「同じ目的のために協力して物事をする事」をいいます。

市民を主体とする協働、市民が市役所職員と協力してまちづくりの行政に参加する協働、いわゆる「市民協働」の地域社会 - 新しいまちづくりの構想です。江南市を構成する様々な主体が互いに協働することにより、市民と市役所職員の知恵、能力、意欲などを、「市民協働の力」として大きく発揮させることができます。

市民自らが切実に必要としている公共サービスを、「市民協働の力」で取り組むからこそ、今よりもさらに充実したサービスを供給することが可能になります。市民協働は、新しい「公共」を創造し、市民誰もが幸せに暮らせる「江南のまち」とする可能性をもっています。市民協働の取組をひとつひとつ行うことによって、市民の自治意識はより向上し、江南市という自治体を構成する様々な主体がより主体的に維持、管理、運営していく力量も高まります。

2．協働の理念

江南市の様々な主体が共通の目標をもって協力し、地域の一員としての自覚ある立場から、地域をよりよくするための活動に自主的に取り組みます。

市民と市役所との協働だけでなく、市民同士の協働、NPOなどの市民団体と自治会の協働、市民団体と企業の協働など、地域内での幅広い連携と適切な分担によって協力するとともに、それぞれの得意分野で力を発揮しながら相互に協力して活動していきます。

3．協働の基本方針（目的、目標）

- (1) 市民の社会参画を進め、市民が主役の、新しい自治のしくみをつくること
- (2) 多様化するニーズ、複雑化する地域課題に、地域資源を活かして、よりよく（きめ細かく）対応することにより公共サービスの質と効率性を高めること

4．協働の原則（協働実施のための基本的な規則・法則）

(1) 対等な関係

江南市の様々な主体が、協力し合うために相互が対等な関係にあることが必要です。それぞれが、主体性をもち、互いに依存せず自立し、対等な関係での協力と連携を進めます。

(2) 相互理解

江南市の様々な構成主体が互いの立場を理解することが前提となります。「苦情を言う・受ける」という関係ではなく、対話を大切にし、互いが信頼し合い尊重し合う関係、「アイデアを出し合い、新しいものをつくりだす」関係を確立します。

(3) 目標と情報の共有

対等な関係、相互理解を進めるためには、地域全体で、地域社会づくりのための情報や知識を創造・共有し、あらゆる過程において透明性を高め、協働が活発に行われる基盤を整えます。

(4) 評価及び公開の原則

目標の達成状況や協働で行った事業などを協働で評価するだけでなく、第三者の評価も活用し、協働による効果や明らかになった課題を次の協働に活かしていきます。また、協働の活動内容及び成果を公開することを原則とする。

5．協働の5つの柱

(1) だれでも安心・安全に暮らせる住みやすいまちづくり

防災、防犯、交通安全など安心で安全に暮らせる住みやすいまち、また、高齢者が住み慣れた地域で自立し、生きがいをもって暮らすことができるよう、地域全体で支えあうまちづくり。

(2) 快適・便利で自由・平和に暮らせるまちづくり

市民が便利で快適な生活をし、機能的で魅力あふれ、市民が幸せに暮らせるまちづくり。

(3) 自然と環境に調和し、花のあふれたまちづくり

ごみ減量やリサイクルなど環境に配慮したまちづくりをさらに進め、環境と市民生活が調和した豊かな生活の場をつくり、自然環境ゆたかな花のあふれたまちづくり。

(4) 心ゆたかで活力あるまちづくり

新しい価値と活力をもたらすまちづくりを市民協働でおこない、心ゆたかで、自由で平和な活力あるまちづくり。

(5) 将来を担い地域を担う人材の育成

市民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備し、豊かな人間性を育むために、次世代を担う人材の育成や地域社会の発展に貢献できるまちづくり。

6．協働の具体的課題（場面・場合）

7．協働の担い手など